

さいたま市版スポーツオープン イノベーションプラットフォーム(SOIP)事業



背景

- 政令市初となるさいたま市スポーツ振興まちづくり条例を制定（平成22年）
- 浦和レッズ、大宮アルディージャ、さいたま Broncosをはじめとした**プロスポーツチーム**が多数あるほか、**市民スポーツも盛ん**です。
- 市内に集積するスポーツ施設群を中心に、市内の宿泊・飲食・研修施設等をネットワーク化し、**さいたま市全体を、スポーツを「する場」「学ぶ場」とする「さいたまスポーツシューレ」の取組を進めています。**

現状の 課題

- 新型コロナウイルスの影響により、プロスポーツの観戦など、スポーツ・レクリエーション目的での来訪者が大幅に減少しています。
- スポーツを「する」「みる」以外の観点から、スポーツの付加価値を高め、**スポーツを通じた市のブランド力を高める**必要があります。

これまでの 取組

- さいたまスポーツシューレ連携協定の締結（延べ11企業・団体等）
- 中学生年代女子サッカー合同練習会の開催
- ICTを活用したスマート部活動の推進



事業の 目的

- スポーツの場におけるオープンイノベーションを促進し、**スポーツからの他産業の価値高度化**や**地域・社会課題の解決につながる新たな財・サービスの創出**を図ります。
- 「さいたまスポーツシューレ」を、そのための「実証の場」と位置づけ、企業・大学・団体等が持つ最新の知見や技術が活用される**新たなスポーツ産業の成長の場**とします。

さいたま市版スポーツオープン イノベーションプラットフォーム(SOIP)事業



事業内容

- 以下のテーマに関するオープンイノベーションプログラムの実施
★異業種ネットワーク（オープンイノベーション）により展開
- 新たな部活動の形づくり（パイロット事業として、青少年のスポーツ指導者向け「コーチングメソッド」の教材開発を検討中）
- With/Afterコロナ時代を見据えた新たなスポーツ産業のモデル組成
- スポーツテックを活用したヘルスケア産業の創出
- 女子スポーツを軸とした新事業の創出

得られる 成果等

- 新たなスポーツビジネスの事業化とスポーツ人材の育成などスポーツを通じた様々な社会課題の解決（公益）を実現
- 特に上記パイロット事業では、これまで確立されていない「青少年のスポーツ指導者向けコーチングメソッド」の全国展開を志向

企業様へ のご期待 メリット など

企業様へのご期待

- さいたま市版SOIPへのご参画（研修・運動・研究施設、データ、ネットワーク、SNS、課題等様々なリソースの提供）
- 関連企業様に関する情報提供
- 企業版ふるさと納税等のご支援 等



企業様のメリット

- プロスポーツチーム等とのビジネスマッチング機会の拡大
- 新事業進出の可能性向上
- 社員様のご活躍機会の拡大
- 企業様のイメージアップ 等